

グリーンフラッグ 3月の活動 ~3月の変化はとても大きくて~



相川の森が消えていく……

3月1日、森にはバリケードが置かれ、翌日から木の切り出しが始まりました。チェーンソーの音が響き渡り、授業をしても聞こえてきます。子ども達は、何気に外を見ないようにしているように見えました。

最初に白木蓮の木が切られました。その枝にはたくさんのおぼみがあったので、切った枝をもらいました。昇降口と玄関に飾りました。開花を遅らせて卒業式にも飾りました。

森は1週間もたたないうちに木は切られて行きました。ここまで大きくなるには長い年月がかかりますが、切るのはあっという間でした。

相川の森の片鱗を少しでも残したいとの思いから切り出された長い木を校長先生達と中庭に運びました。

在来種で移植できそうな木を中庭に移植したいと頼むと残していただけることになりました。木は、マンサク、ハナカイドウです。移植するには根を傷めないよう掘り起こさないといけなかったので、その作業は、手掘りとなります。工事の方は一生懸命にその木を掘って、移動先の中庭の穴も掘って移植してくださいました。

相川の森は、消えていきましたが、たくさん遊んだこと、バラぼっくりを拾った思い出は、子ども達の記憶の中に残ることでしょう。



祝 グリーンフラッグ再認証

「再認証の結果は、2月の終わり郵送で届きます。」2月の終わりになると子ども達は、毎日のように手紙が届いたのか先生方に確かめてきました。

その結果が来たのが、3月2日の放課後でした。環境委員会の委員長宛に来たので、担当教職員も開くことができません。

3月4日(月)の業間休みに環境委員会の児童、各委員会の委員長を集めて封筒を開きました。委員や副委員長は開く前から緊張で泣き出していました。結果は、

2021年3月31日までグリーンフラッグを認証します。

とありました。早速、6年生が放送でその結果が全校に知らされました。

グリーンフラッグは、子ども達が主体的に活動したことが審査されます。自分達でやってきたことが評価され、結果として得られたことが本当に素晴らしいことです。おめでとう！

